



バンキシャ野添隊員が行く！最終回

～地域おこし協力隊コーナー～

広報業務支援員の野添博雅隊員が地域おこし協力隊の視点で余市町の魅力を伝えるコーナーです。

小学校で「余市の課題」授業 関心が高い次世代に期待



先日、沢町小学校で小学6年生を対象に授業を行ってきました。依頼されたテーマは「余市の魅力と課題について」です。魅力については余市町に来て1年に満たない私でも話すことができますが、課題となると難しい。そこで、町のみなさんに課題について聞いて回って、授業の日に備えることにしました。



▲小学生の質問に答える野添隊員

課題を調べる中で一番印象に残っている言葉は「余市の人々が余市に関心を持っていないことかな」という一言です。余市の魅力は海産物が豊富で、素晴らしい果樹や野菜も育ちます。自然環境に恵まれ、高品質なウイスキーやワインの製造にも適しています。一方で、恵まれているからこそ余市全体について関心が薄くても暮らせてしまう。もっと他者にも関心を持って、例えば、漁師と農家が交流を深めて新商品を開発できれば、さらに町の魅力が高まるのだと思います。

こういった話を交えながら余市の魅力と課題を児童に伝えました。この依頼があった理由は児童が私から話を聞きたいと選んだからだそうです。余市の課題に関心を持つ次世代がいることに、明るい兆しを感じました。

「バンキシャ野添隊員が行く！」は協力隊の委嘱期間が3月で終了し協力隊を卒業したため今号で最終回となります。去年6月に着任してから10か月の間、町民のみなさんには写真撮影など協力隊活動へのご支援、ご協力をいただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

協力隊員は町を盛り上げるため日々活動しています。杵木隊員は余市産ひる貝を使ったシトルトカレーを開発して、3月からエルラプラザと道の駅で販売中です。實田隊員は定住に向けて余市駅近くで飲食店「ワイン、ときどき豚」の開業準備を進めています。今年度も各隊員が経験を生かして町の活性化に取り組みますので、引き続き応援よろしくお願いします。



▲シリバ岬の撮影風景

問合せ 政策推進課 広報統計係 ☎21-2117



在宅生活支援の介護保険サービス

町では、高齢者の在宅生活を支援するため、介護保険サービスとして次の事業を実施しています。

《緊急通報システム事業》

事業内容：自宅に緊急通報装置や火災報知機を設置し、24時間365日、看護師や相談員が電話による相談や通報を受け付けます。緊急時には、消防署に通報するとともに、利用者の家族や地域の民生委員に連絡します。

対象者：余市町介護保険第1号被保険者（65歳以上の方）で、身体上の慢性疾患等により緊急時の対応ができないと認められる単身世帯の方など

※利用希望者には別途面談を実施し、利用の可否を判定します。

利用料：無料（ただし、通報時の電話代は自己負担となります。）

《訪問配食サービス事業》

事業内容：週1回または週2回、利用者宅へ栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、配食時の安否確認を行います。

対象者：余市町介護保険第1号被保険者（65歳以上の方）で、栄養改善または在宅での自立支援が必要と認められる単身世帯または高齢者世帯の方など

※利用希望者には別途面談を実施し、利用の可否を判定します。

利用料：1食あたり450円（令和6年4月1日利用分から）

※令和5年度までの利用料（1食あたり400円）から改定となりました。

利用を希望される場合は、随時問合せください。

問合せ 保険課 介護保険係 ☎21-2119 余市町地域包括支援センター ☎48-6015
余市町在宅介護支援センター ☎22-3115